

# 社会教育施設の自己紹介

## 【施設名】

岐阜県美術館

## 【施設概要】

岐阜県美術館は「美とふれあい、美と対話する」をテーマに昭和57年11月3日に開館しました。広々とした敷地は豊かな緑と立体造形作品とが調和して、訪れる人の憩いの空間となっています。館内は全館バリアフリーとなっていて、車椅子やベビーカーですべての施設を利用できます。

岐阜県は、川合玉堂、前田青邨、山本芳翠、熊谷守一など、近代日本美術史上に重要な足跡を残した多くの作家を輩出しています。岐阜県美術館では、そうした郷土にゆかりのある作家の作品を収集、展示してきました。

それ以外にも、日本美術の流れを展望するにふさわしい作家の作品、世界の美術動向の中で特に創造性にすぐれた作品も積極的に収集し、展示しています。特にオディロン・ルドンを中心とする作品の数々は世界有数のコレクションとなっています。こうした収蔵作品は所蔵品展示室で展示され、年4回の展示替えを行なっているため幅広く観覧できます。

企画展では、世界に眼を広げる国際的な展覧会、日本画や工芸品など伝統的な日本美術の展覧会、21世紀の美術を志向する新しい試みの作品を紹介する展覧会、郷土に根付いて活動する作家を取り上げた展覧会など多角的でユニークな企画を続けています。



【美術館内より庭園をのぞむ】



【美術館外観】

その他、企画展と連動した「美術講座」や「作品鑑賞会」、美術の各ジャンルを対象としたさまざまな「実技講座」、親子で参加できる「幼児と子供の造形教室」「親と子の鑑賞教室」「キッズ・エンジョイ・アート」など多彩な教育普及活動を展開しています。

岐阜県美術館ホームページ↓

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s27213/>

## 【特色ある取組等】

### ①愛知・三重・岐阜3県立美術館協同企画

平成18年の7月8日から8月20日にわたって愛知県美術館、三重県立美術館、岐阜県美術館の所蔵品で構成する企画展を行ないました。「愛知・三重・岐阜3県立美術館協同企画No.2 ルドンとその時代」展です。比較的近くに集まっている3つの美術館のコレクションとスタッフの交流をしていくことで、それぞれの館の魅力を引き出そうという試みで、平成16年から始まりました。愛知県美術館のクリムトやボナール、三重県立美術館のルノワールやモネ、岐阜県美術館のルドンやモロー等、西洋絵画の名作が岐阜県美術館に集まりました。これだけの規模の展覧会を一つの美術館で行なうことは難しいのですが、3つの館の協力によって実現しました。西洋近代絵画の転換期を生き延びたルドンをいわば船頭役にすることで、その時代のヨーロッパの芸術の変遷がわかるような構成となっていて好評を博しました。

また、関連イベントとして美術館と学校をつなぐシンポジウム「子どもを語ろう！アートを語ろう！～美術館と学校が考える鑑賞教育の現在」が開催されました。愛知、三重、岐阜、三県立美術館の学芸員、教育普及担当、文部科学省の調査官、愛知教育大学の教授などが参加し、パネルディスカッションを行ないました。パネラーがそれぞれの立場から、美術館と学校における鑑賞教育についての提言を行い、参加者との間で活発に意見交流がなされるなど充実した会となりました。

パネルディスカッションの後のギャラリートークでは、岐阜県美術館のギャラリートーク解説員による対話型の鑑賞を行い、日頃の岐阜県美術館の鑑賞活動を紹介しながら「ルドンとその時代」展を楽しみました。

今後も、こうしたイベントで得られた成果を生かしながら、より学校との連携を進めていきたいと考えています。



【シンポジウムでのギャラリートーク】

## ②スクールミュージアム

スクールミュージアムは、所蔵品を県内で展示する「広域美術館」事業の一環として平成17年度から始まりました。このスクールミュージアムには「本物の作品を学校で鑑賞することで、児童・生徒にそのよさを味わってもらいたい」また、「学校が地域社会の中で文化の拠点としての役割を果たし、生涯学習の場となるように学校と美術館との連携を図っていきたい」という願いが込められています。

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を対象に、岐阜県美術館所蔵の作品5点を1日展示するという方法で行なっています。

平成18年度は5つの小・中学校で行いました。会場となった学校の会議室や美術室等を使い、岐阜県美術館の展示室を再現するため、壁面や照明を美術館と同じものになるように設定しました。またエアコン、除湿機、加湿器によって温湿度の調整を図りました。こうした作業はかなりの時間と労力を必要とし、美術館の職員はもちろん会場学校の職員も協力して、前日から準備にあたりました。



【スクールミュージアム】身を乗り出して作品を見つめたりする姿がみられました。

また、保護者や地域の方々、近隣の学校の職員等多くの方々が来校して鑑賞をされました。「近くで、本物が見られてうれしい」「解説がわかりやすくてよかった」という反応が多く、たくさんの方が足を止めて熱心に作品を見つめていました。

### 【その他】

平成18年に、ミュージアムショップをリニューアルオープンしました。より広く明るくなった店内で様々な関連グッズを販売しています。また平成19年4月にはレストランをリニューアルし、新しい店舗としてスタートします。来館された方がゆっくり展覧会を鑑賞し、ショッピングや食事が楽しめる空間としてますます充実しつつある岐阜県美術館です。



【ミュージアムショップ】

### 【ここ数年の来館者数の推移】

- ・平成13年度： 64,917人
- ・平成14年度： 86,454人
- ・平成15年度： 119,024人
- ・平成16年度： 49,657人（空調整備のため、5ヶ月間休館）
- ・平成17年度： 74,521人